

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2025.2.1
第 1135 回放送分『新型コロナウイルス感染症の総括』1 回目
ゲスト：西順一郎ドクター



二見いすず

今月のドクタートークは、「新型コロナウイルス感染症の総括」をテーマにお送りいたします。

お話は、鹿児島県医師会 西順一郎（にし じゅんいちろう）ドクターです。西さん、どうぞよろしくお願いいいたします。

西順一郎Dr.

よろしくお願いいいたします。

二見いすず

早速ですが、今週は何についてお話しいただけますか。

西順一郎Dr.

今週は、新型コロナウイルス感染症の現状についてお伝えいたします。

新型コロナは2023年の5月に5類感染症に移行しましたが、

今もなお、冬と夏の流行が同じレベルで続いています。

去年は2月上旬、ちょうど今ごろが冬の流行のピークでした。

今年も1月以降、感染者が増えています。

二見いすず

今年は、年末年始からインフルエンザの爆発的な流行もあり、

新型コロナのことを忘れてしまっている方もいらっしゃるかもしれませんが、

今も変わらず、新型コロナに感染してしまうこともあることを忘れずに

注意しないとイケませんね。

しかし、長きわたり、このような流行が続くのはなぜでしょうか？

西順一郎Dr.

それは、新型コロナウイルスが変異を続けているからです。
オミクロン株の中でも小さな変異を繰り返しています。
現在アメリカで XEC 株が流行しており、日本でも増えつつあります。
免疫を回避する力が上がっているため、2回3回と感染を繰り返す人がみられます。

二見いすず

それは同じオミクロン株の中でも、
2回3回と感染してしまうということでしょうか？

西順一郎Dr.

はい、そのとおりです。
入院患者数は、特に高齢者を中心に増えており、
医療機関や高齢者施設の集団発生もみられます。

二見いすず

集団感染のリスクも続いているということですね。気をつけたいですね。

西順一郎Dr.

また、お亡くなりになる方も、5類になったからといって
決して減っているわけではありません。
5類になる前は、7万4千人の方がお亡くなりになりましたが、
5類移行後は、昨年8月までの1年4か月間で4万4千人の方が新型コロナで死亡しています。
コロナに感染した方で亡くなる方の割合も、
5類移行前までの累積で0.22%だったのに対し、5類移行後も0.22%で変わっていません。

二見いすず

同じ割合なんですね。

西順一郎Dr.

はい。新型コロナは決して終わったわけではない
ということ、しっかり心に留めておいていただきたいです。
また、高齢者にとってはインフルエンザの重症化や死亡のリスクは高いですが、
新型コロナはインフルエンザ以上であるということも覚えておいてください。

二見いすず

よく分かりました。
今月は、「新型コロナウイルス感染症の総括」をテーマにお送りいたします。
お話は、鹿児島県医師会 西順一郎ドクターでした。
西さん、ありがとうございました。

西順一郎Dr.

ありがとうございました。